

IV. 平成29年度後期 南紀熊野サテライト開講授業

1. 大学院授業科目

| | | | |
|-----------------|---------------------------------------|------|-----|
| 授業科目名 (英文表記) | 情報ネットワーク特殊問題 (Information Network) | | |
| 単位数 | 2 | 授業形態 | 講義 |
| 担当教員 | 佐藤 周 | | |
| 開講 | 南紀熊野サテライト | 区分 | 大学院 |
| 実施日・時間 | 10月13日(金) 18:30~20:50 | | |
| | 10月14日(土) 10:00~16:00 | | |
| | 10月27日(金) 18:30~20:50 | | |
| | 10月28日(土) 10:00~16:00 | | |
| | 11月10日(金) 18:30~20:50 | | |
| | 11月11日(土) 10:00~16:00 | | |

【授業のねらい・概要】

経済産業省が地域創生のための政策立案を目指したRESAS(Regional Economy Society Analyzing System)を公開しているが、その活用を通して、地域課題のデータによる分析、政策立案、評価方法について学ぶ。教科書の輪読、パソコンの操作によるデータ検索、PowerPointを利用したプレゼン用資料の作成と発表及び討議などの実践を含む。可能ならば、地域を実際に踏査することにもチャレンジしたい。

【授業計画】

- 第1回 「オリエンテーション」
授業計画の概要を説明し、RESASについて紹介する
- 第2回 「地域経済分析に関わるテキストの輪読とまとめ」
「スモールマート革命」の輪読によって、地域経済分析のための視点をまとめる
- 第3回 「田辺の地域課題についての議論」
田辺地域が抱える諸課題についてのグループ討論
- 第4回 「田辺の地域課題解決のための議論」
前回の議論に基いた実地踏査や解決策のための議論
- 第5回 「RESASを利用したデータ収集とプレゼンテーション資料の作成」
RESASの利用したデータの収集とプレゼンテーション資料の作成
- 第6回 「プレゼンテーションとまとめ」
各グループごとに作成したプレゼンテーションを使った発表とそれに関する議論

【到達目標】

地域課題解決のためのデータ収集・分析・評価についての基本を理解し、自らRESASや地方自治体が公表しているデータ等を活用するための基本的知識を修得する。

【教科書】

RESASの教科書(日経BP社 2016年) スモールマート革命(マイケル・シューマン 明石書店 2013年)

【参考書】

ネット上のドキュメントなども折にふれて紹介する。

【成績評価方法】

特にペーパーテストなどは行わないが、作成された資料、発表、途中での議論などを総合的に判断して評価する。

【授業時間外学習】

参加者は事前にスモールマート革命について読んでおいて貰いたい。その上で、教科書の内容について議論し、更に当該地域の課題解決についての議論を行う。

【履修上の注意・メッセージ】

受講生は少ないかもしれませんが、教員も一緒になって活発に議論していきたいと思います。パソコンについての知識は特に必要ありませんが、できれば自分で基本的な操作ができ、自宅などでInternetを利用してRESASが使える環境があるとより理解は深まると思います。